

自分たちでやることによって得られる充実感・達成感～ふたばっ子祭りから～

校長 近藤 幸栄

12月12日に、ふたばっ子祭りを開催しました。当初の計画では11月21日に実施する予定でしたが、インフルエンザの流行により、2回延期しての実施となりました。「延期・延期となり子どもたちのモチベーションはどうなのだろうか」「延期のため、準備がままならず、ふたばっ子祭りは実施したけれども・・・」ということにはならないだろうかという不安もありました。

当日は、どのグループ（縦割り班）も協力して手際よく開店の準備し、祭りの開始を待ちました。運営委員長のあいさつの後、各班の中でお店番とお店回りに別れ、各班のお店を回って楽しみました。日頃YouTubeやオンラインゲームなどを楽しんでいる子どもたちがゴム鉄砲の射的や、隠されたお宝を探す宝探し、ペットボトルフリップの団体戦などで楽しめるのか不安でしたが、子どもたちは笑顔いっぱいで楽しんでいました。

これには、周到な準備ややり方の工夫（点数化したり、ランキングを設けたり、個人ではなくグループで競い合ったり）などあり、子どもたちが楽しめているのではないかと感じました。また、自分たちで工夫したり手作りしたりした遊びを友達に遊んでもらう、ということも日頃のゲームにはない楽しみであり喜びであったのかもしれません。

そして、閉会式では、運営委員会の企画した、“サプライズプレゼント”もあり、大盛り上がりで、ふたばっ子祭りの閉幕を迎えるました。

この祭りを通して、企画から準備に至るまで、教師のサポートはあったにせよ、高学年の子どもたちを中心に自分たちで責任をもって進めたこと。シミュレーションを繰り返し、よりよいものに作り変えていったこと。準備をしっかりとすることによって一人ひとりが自信と役割をもって臨めたこと。これらが子どもたちの笑顔、成長につながったのではないかと感じた児童会祭りでした。

また、閉会式後、協力し自分たちのお店を片付ける手際よさにも感心して見ていました。このイベント自体楽しいのですが、当日に至るまでの過程、役割をもって参加する、自分が必要とされ役に立っているという自己有用感。これらが育まれたよい機会となりました。



協力して後片付けもあつという間



1年生も店番で活躍

今年もまもなく大晦日を迎えます。今年1年、学校の教育活動にご理解・ご協力をいたいたことに深く感謝申し上げます。来る令和8年も二葉小学校にとっても、皆様にとっても素晴らしい年になりますように。